

こたえ かさじぞう

ひょうじゅん
標準 ③

かさじぞう

(日本の むかしばなし)

むかし、まずしい おじいさんと おばあさんが
いました。

おおみそかの 日、おじいさんは かさを うりに
町へ いきました。でも、かさは 一つも うれません。
かえりみち、ゆきの 中に、おじぞうさまが 六人
ならんで いました。あたまに ゆきが つもって、
さむそうです。

おじいさんは、うれのこった かさを おじぞうさまに
かぶせました。でも、かさは 五つしか ありません。
おじいさんは、さいごの おじぞうさまに、じぶんの
てぬぐいを かぶせました。

その ばん、おじぞうさまたちが、おこめや おもちを
はこんで きて くれました。

1 おじいさんは、なにを うりに いきましたか。

か
さ

2 おじぞうさまは、なん人 いましたか。

六
人

3 さいごの おじぞうさまに、おじいさんは なにを
かぶせましたか。

ア
かさイ
てぬぐいウ
ぼうし

4 おじぞうさまたちが おこめや おもちを はこんで きたのは、
どうしてでしょう。

ア
おじいさんが かさを かぶせて くれたから。イ
おじいさんに たのまれたから。ウ
おもちが あまったから。

おうちの方へ

- 3は、かさが五つしかなかったことから考えます。